

スポーツ政策の推進に関する円卓会議（第3回）  
**JSC関連事業報告**

2021年6月30日

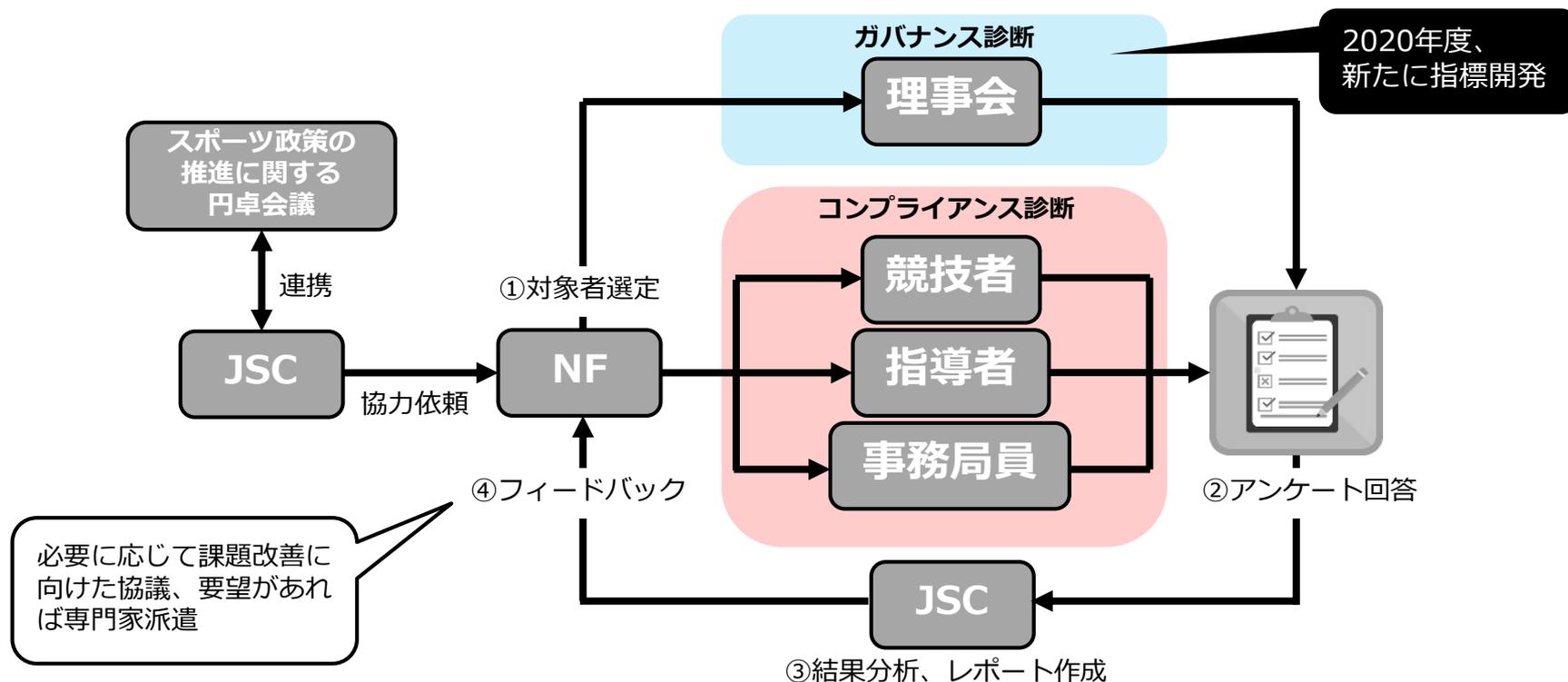
独立行政法人日本スポーツ振興センター  
スポーツ・インテグリティ・ユニット

# 中央競技団体のガバナンス・コンプライアンス診断 (モニタリング)

「スポーツ・インテグリティの確保に向けたアクションプラン」(2018年12月、スポーツ庁)

(5) 中央競技団体に対するモニタリングの実施

○JSCは、中央競技団体のガバナンスやコンプライアンスの状況の改善に資するよう、2019年度以降、円卓会議と連携し、モニタリングを着実に実施するとともに、その結果を円卓会議に報告してJSPO、JOC及びJPSAと共有する。



目的：中央競技団体のガバナンス又はコンプライアンスに関する現況評価を行い、より良い団体運営の推進を支援する。

方法：対象者に（オンライン）アンケートを送付し、回答結果をJSCで集計・分析し、NFにフィードバックする。個人を特定する情報収集は行わない。

対象：（ガバナンス）理事会構成員

（コンプライアンス）競技者、指導者、事務局員

## コンプライアンス診断実施団体 (2020年度)

実施団体	公益財団法人日本卓球協会 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 公益財団法人日本バレーボール協会 特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟 一般社団法人日本フライングディスク協会
コンプライアンス診断 アンケート対象人数	競技者 = 244名 指導者 = 27名 事務局員 = 89名

# 中央競技団体ガバナンス診断 (ガバナンスの実効性に関するモニタリング)

## (1) 概要

対象：NFの理事・監事

対象団体は適合性審査通過団体から無作為抽出

- NFのガバナンスの実効性に関する現況評価を行い、その結果をフィードバックすることで、各団体のより良い団体運営を支援することを目的に、新たな現況評価の仕組みを開発。
- 統括3団体による適合性審査により、統括3団体加盟NFにおいては必要な組織体制や規程、制度等の整備状況が審査されることを踏まえ、JSCガバナンス診断においては、組織体制の状況や、理事・監事の責務に関する、NF理事・監事の理解・認識状況をアンケート方式で評価し、フィードバックする。
- アンケートの結果、潜在リスクが認められる場合は、改善方法についてNFと協議し、必要に応じて専門家派遣等の支援を行う。
- 2020年度～指標開発を行い、2021年度より運用開始。

## (2) 指標開発スケジュール

(2020年)

9月	第1回会議開催、コンセプト作成
10月	第2回会議開催、指標原案作成
11月～12月	統括団体及びNF役職員ヒアリング
12月	第3回会議開催、指標原案確定

(2021年)

1月～3月	トライアル実施
3月	第4回会議開催、トライアル結果中間報告
4月～5月	トライアル実施
5月	第5回会議開催、指標開発取りまとめ

<指標開発会議メンバー>

野川春夫	順天堂大学特任教授 (座長)
岡田幸彦	筑波大学システム情報系准教授
尾野恭史	古賀総合法律事務所、弁護士
里崎慎	デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー 合同会社、公認会計士
猪股康博	JSCスポーツ・インテグリティ・ユニット長
和久貴洋	JSCスポーツ・インテグリティ・ユニット調整役

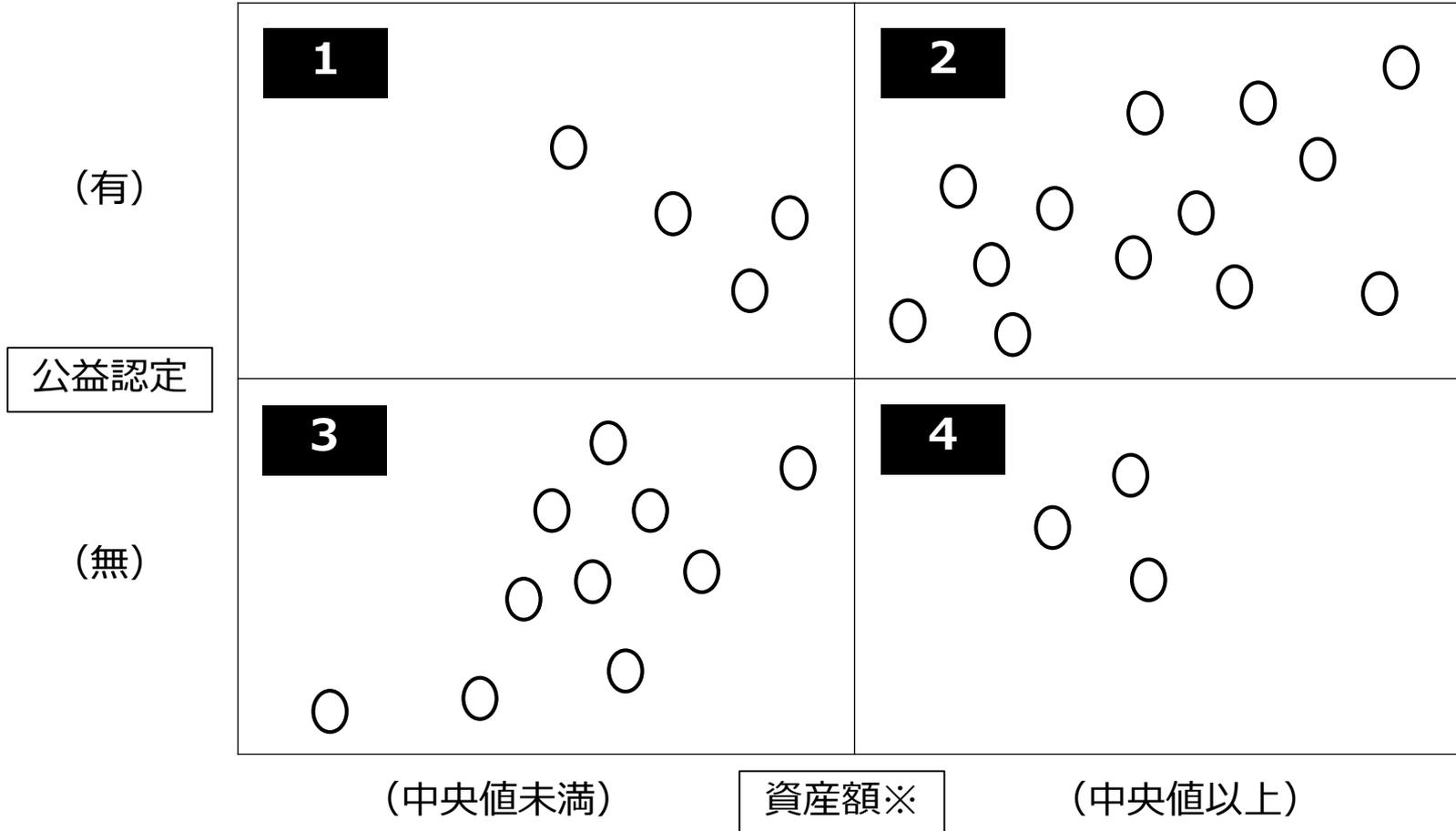
## ガバナンス診断（トライアル）実施団体 （2020年度）

<b>実施団体</b>	<b>公益財団法人日本卓球協会 公益財団法人日本バレーボール協会 一般社団法人日本フライングディスク協会</b>
<b>ガバナンス診断 アンケート対象人数</b>	<b>理事・監事 = 64名</b>

# 2021年度ガバナンス診断対象団体選定方針

※適合性審査通過団体を1～4に分類し、  
各カテゴリから1団体程度を無作為抽出

(対象団体分類のイメージ)



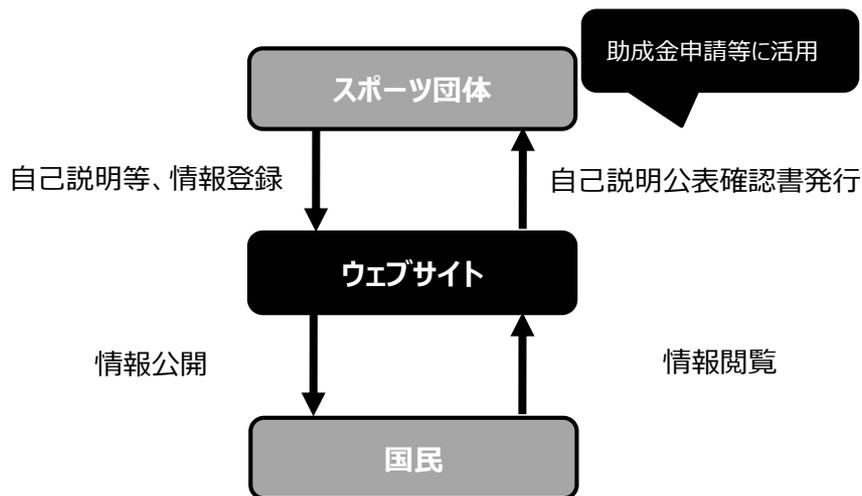
※団体規模の基準として資産額を用いる。適合性審査対象団体の決算情報（公開情報）から資産額を抽出し、中央値を算出。

# スポーツガバナンスウェブサイトについて

<https://www.sg-web.jpnsport.go.jp/sgw/Top>

## 事業概要

- スポーツ団体の「スポーツ団体ガバナンスコード＜一般スポーツ団体向け＞」に基づく自己説明・公表を促進することを目的に専用ウェブサイトを構築。
- 24時間365日、無料で利用可能。
- 利用団体にはアカウントを発行し、団体基礎情報（団体名、法人格、所在地、実施競技等）とともに、自団体の自己説明を登録し、公開する仕組み。
- 公開された情報は、メールアドレス等の個人情報を除き、全て閲覧・検索可能となる。
- 2021年6月1日時点の実績：  
登録団体数 = 690（※2020年度実績：564）  
内訳 = 一般スポーツ団体：573、NF：117



JAPAN SPORT COUNCIL

スポーツガバナンスウェブサイト

このウェブサイトについて  
スポーツガバナンスウェブサイトは、日本国内で活動するスポーツ団体が、団体基礎情報と団体運営に関する自己説明を登録・公表するウェブサイトです。スポーツ団体による、「スポーツ団体ガバナンスコード＜一般スポーツ団体向け＞」(スポーツ庁策定)を用いた自己説明・公表を促進することで、スポーツ界の透明性向上に貢献します。

スポーツ団体の方へ  
本サイトに登録されたスポーツ団体の情報は、どなたでも検索・閲覧が可能です。ご利用にあたり利用マニュアルと利用規約をご確認の上、「団体情報登録(マイページID発行)」から手続きをしてください。

閲覧者の方へ  
本サイトに登録されたスポーツ団体の情報は、どなたでも検索・閲覧が可能です。ご利用にあたり、各注意事項をご確認ください。

本サイトは地方行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)が運営しています。スポーツガバナンスウェブサイトのより詳しい説明は、JSCのホームページでご確認ください。

団体名称  コード区分

競技名  団体所在地  加盟団体

都道府県

市区町村

検索 条件クリア

1 2 3 4 5 ▶ 最終更新日(団体) 10件 ▼

団体名称	法人区分	都道府県	市区町村	最終更新日
<a href="#">年人徳江スポーツクラブ</a>	特定非営利活動法人	鹿児島県	鹿児島市	2021/04/07
<a href="#">レッスランド</a>	一般社団法人	埼玉県	さいたま市	2021/04/06
<a href="#">特定非営利活動法人さくら総合スポーツクラブ</a>	特定非営利活動法人	鳥取県	安来市	2021/04/05
<a href="#">日本ホトスキー・ウエイクボード連盟</a>	特定非営利活動法人	東京都	港区	2021/04/03
<a href="#">日本スタンドアップバドミントン協会</a>	一般社団法人	神奈川県	横浜市	2021/04/01
<a href="#">愛知県スポーツ協会</a>	公益財団法人	愛知県	名古屋市中区	2021/04/01
<a href="#">宮城県アイスホッケー連盟</a>	任意団体	宮城県	仙台市	2021/04/01

# (参考) コンプライアンス診断アンケート (競技者・指導者用)

No.	枠組み	カテゴリ	設問
Q1	暴力	暴力の状況	あなたは、直近6か月以内で、あなたの所属する代表チームおよび関連する活動中に物理的な暴力行為（体罰含む）を行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。（複数回答可）
Q2		暴言の状況	あなたは、直近6か月以内で、あなたの所属する代表チームおよび関連する活動中に暴言（例：人格・存在の否定、「無能」などの侮辱、名誉やプライドを傷つける言葉等）を行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。（複数回答可）
Q3		暴力につながりそうな状況・雰囲気	あなたの所属する代表チームには、暴力につながりそうな状況や雰囲気がありますか。
Q4		Q3がyes→それが見られる場面	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。
Q5		暴力は致し方ないという考え方・雰囲気	あなたの所属する代表チームには、時にはある程度の暴力（手をあげる、暴言をはく等）は競技力向上のためには致し方なしという考え方や雰囲気がありますか。
Q6		パフォーマンス不調によるプレッシャー・イライラからの暴力につながりそうな雰囲気	あなたの所属する代表チームには競技者のパフォーマンスが伸びないことによるプレッシャーやイライラ感が暴力（手をあげる、暴言をはく等）につながるような雰囲気がありますか。
Q7	ハラスメント	ハラスメントの状況	あなたは、直近6か月以内で、あなたが所属する代表チームおよび関連する活動中にハラスメントを行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。（複数回答可）
Q8		ハラスメントにつながりそうな状況・雰囲気	あなたの所属する代表チームにはハラスメントにつながりそうな状況や雰囲気がありますか。
Q9		Q8がyes→それが見られる場面	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。
Q10		異性の競技者、指導者、関係者が二人きりになる状況	あなたが所属する代表チームには異性の競技者、指導者及び関係者が、指導等の必要性なく二人きりになるような状況がありますか。
Q11	ドーピング	アンチ・ドーピング規則違反行為の状況	あなたは、直近6か月以内で、あなたの所属する代表チーム内の人（例：禁止物質・禁止方法の使用、ドーピング検査の拒否・妨害、居場所情報の提出拒否又は提出忘れ（複数回）、指導者・トレーナー等が競技者に禁止物質・禁止方法を使用すること又は使用を企てること等）をしているのを見聞きしましたか。（複数回答可）
Q12		記録を伸ばすためには手段を選ばず使えば良いという雰囲気	あなたの所属する代表チームでは、記録を伸ばしたり勝利することのためには、現行ルール上明確に禁止が明記されたり罰則が決められている以外の方法は、多少危険かなと思っても手段を選ばず使えば良いのだという雰囲気がありますか。
Q13	反社等	反社会的勢力との接触等	直近6か月以内で、反社会的勢力と疑われる組織や人物（暴力団等）からあなたや、あなたの所属する代表チームの他の競技者、監督・コーチ等に対して何らかの接触があったり、そのようなことを見聞きしたりしましたか。（複数回答可）
Q14		社会的なルールやモラル等に反する行動が許される状況・文化	あなたの所属する代表チームには社会的なルールやモラル等に反する行動（賭博や大麻等薬物の使用を含む）が許される状況や文化がありますか。

## (参考) コンプライアンス診断アンケート (事務局員用)

No.	枠組み	カテゴリ	設問
Q1	事務局業務	業務量	あなたは、直近6カ月以内で、あなたに与えられている業務量についてどのように感じていますか。
Q2		慣行の優先	所属団体では規程等や行動規範よりも慣行が優先される場面が多いですか。
Q3		規程等に反した事務処理	あなたは、直近6カ月以内で、理事や上司からの指示により、法令に反していたり、文書で定められた事項（以下で「規程等」という。）に反した事務処理等を行いましたか。（複数回答可）
Q4		無理な事務処理要求が許容される状況・文化	理事や上司、競技現場から、規程等に照らして無理な事務処理の要求が許容される状況や文化があると思いますか。
Q5		事務局内の相互点検体制	所属団体の事務局では、事務処理に関して相互点検の仕組みがありますか。
Q6		規程等の理解	あなたは所属団体のサービス規程や倫理規程を理解していますか。（これらの規程により禁止されている事項を理解していますか。）
Q7	ハラスメント	ハラスメントの状況	あなたは、直近6カ月以内で、業務に関連してハラスメントを行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。（複数回答可）
Q8		事務局員の状況確認	あなたは業務の一環として、代表チームの競技現場に行くことがありますか。
Q9		競技現場におけるハラスメント・暴力に繋がる状況・雰囲気	所属団体の代表チームの競技現場には、ハラスメントや暴力につながりそうな状況や雰囲気がありますか。
Q10		Q9がyes→それが見られる場面	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。
Q11		事務局内におけるハラスメント・暴力に繋がる状況・雰囲気	所属団体の事務局内には、ハラスメントや暴力につながりそうな状況や雰囲気がありますか。
Q12		Q11がyes→それが見られる場面	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。
Q11	反社等	反社会的勢力との接触状況	直近6カ月以内で、反社会的勢力と疑われる組織や人物（暴力団等）からあなたや所属団体内の他の人に対して何らかの接触があったり、そのようなことを見聞きしたりしましたか。（複数回答可）

## (参考) ガバナンス診断アンケート

No.	カテゴリ	設問
1	属性等	あなたは、理事・監事に就任されて、現在何期目ですか。
2		あなたは、業務執行理事ですか。
3		あなたは、ガバナンスとは何かについて理解していますか。
4		あなたは、所属団体の理事・監事が、ガバナンスを確立することの重要性を理解していると思いますか。
5		あなたは、これまでの所属団体の理事会運営において、団体ガバナンスの観点から疑念を抱くことがありましたか。
6	理事会運営	あなたの所属団体では、理事会運営、意思決定の仕方を定めた規程・ルールが作成されていますか。
7		あなたは、所属団体の理事・監事が、その内容を理解していると思いますか。
8		あなたは、所属団体の理事会が規程・ルールに基づき適切に運営されていると思いますか。
9		あなたは、所属団体の理事の役割分担や責任の範囲が明確になっていると思いますか。
10		あなたは、所属団体の理事の役割分担や責任の範囲について、理事・監事就任時等において説明を受けたことがありますか。
11		あなたは、各理事が必要に応じて提起する議題が、所属団体の理事会の議事に適切に反映されていると思いますか。
12		あなたは、所属団体の理事会において法人の運営状況や課題を把握するうえで必要な情報や資料が適時提供されていると思いますか。
13		あなたは、所属団体の理事会において、優先度の高い議案に対して十分な議論時間が確保されていると思いますか。
14		あなたの所属団体では、理事会議事録は適切に作成・保管され、必要な時に理事・監事が閲覧できるようになっていますか。
15		あなたは、所属団体の業務執行理事（理事長、常務理事等）と、それ以外の理事・監事が、中長期的な視点に立って、遠慮や忖度なく、多様な視点で法人運営の方針や課題について議論がなされていると思いますか。
16		あなたは、所属団体に著しい損害を及ぼすおそれのある事実があることを発見したとき、誰に報告しますか。（複数回答可）
17		あなたは、所属団体の専門委員会を所掌していますか。（※担当理事や委員長という立場ではなく、委員会の一委員である場合は、「所掌していない」を選択してください。）
18		あなたは、所掌する専門委員会での議論を、理事会で適切に報告していますか。

## (参考) ガバナンス診断アンケート

No.	カテゴリ	設問	
19	監事	あなたは、所属団体の理事・監事が、監事の「会計」監査の役割を理解していると思いますか。	
20		あなたは、所属団体の理事・監事が、監事の「業務」監査の役割を理解していると思いますか。	
21		あなたは、所属団体における監事の役割について、理事・監事就任時等において説明を受けたことがありますか。	
22		あなたは、所属団体において監事が業務を遂行するにあたり、事務局から十分なサポートを受けていると思いますか。	
23		あなたの所属団体では、危機管理や不祥事対応を図るための体制が構築されていますか。	
24		あなたは、所属団体の理事・監事が、その内容を認識していると思いますか。	
25		あなたは、所属団体における危機管理や不祥事の対応について、理事・監事就任時等において説明を受けたことがありますか。	
26		非常時の対応	あなたは、所属団体で不祥事が発生した際、一部の業務執行理事や事務局長の中だけにとどまらず、理事・監事に適時適切に最新情報が共有されていると思いますか。
27	あなたの所属団体では、何が利益相反となるかについて指針（ポリシー）が作成されていますか（倫理規程、コンプライアンス規程等において利益相反の定義が定められている場合も含む）。		
28	あなたは、所属団体の理事・監事が、その内容を理解していると思いますか。		
29	あなたの所属団体では、利益相反取引を行う際の、明確な規程・ルールが作成されていますか。		
30	あなたは、所属団体の理事・監事が、その内容を理解していると思いますか。		
31	あなたは、所属団体における利益相反管理について、理事・監事就任時等において説明を受けたことがありますか。		
32	あなたは、所属団体において利益相反取引を行う際、規程・ルールに沿って適切に意思決定がされていると思いますか。		
33	あなたは、所属団体において重要な契約を行う際、理事会での十分な審議や詳細な報告等、客観性・透明性につき、慎重な検討が行われていると思いますか。		
34	法令等遵守		あなたの所属団体では、役職員等の構成員が適用対象となる、コンプライアンス（法令等の遵守）に関する規程が作成されていますか。
35			あなたは、所属団体の理事・監事が、その規程に基づく監督の役割を十分に果たしていると思いますか。
36		あなたの所属団体では、理事・監事向けのコンプライアンス（法令等の遵守）に関する研修が定期的に行われていますか。	
37		あなたは、その研修に参加していますか。	